

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	1-2204
研究課題名	海洋流出マイクロプラスチックの物理・化学的特性に基づく汚染実態把握と生物影響評価
研究実施期間	2022（令和 4）年度～2024（令和 6）年度
研究代表機関名	国立環境研究所
研究代表者名	鈴木 剛

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

陸域から水域へのプラスチックの移動・変成に関して、動態評価に役立つ基礎的な化学的・生物学的データが得られた点が評価できる。素材添加剤とタイヤ路面摩耗粉塵についての一次分析情報を獲得されたことは貴重な成果である。生物影響において、マイクロプラスチック添加剤が重要な役割を果たしていることを明らかにした点、さらに PNEC の提案に至った点は大きな成果と評価する。堆積物や砂は固体媒体でかつ堆積量であることから水系全体としての収支検討の進め方や湖沼などの閉鎖系水域でのマイクロプラスチック動態などが今後の課題である。分析で検出された Irgafos などのタイヤ酸化防止剤について、生態影響などの今後の検討に期待する。